

《愛知県議会 会議録より》

2018.02.07：平成30年議員定数等調査特別委員会

【下奥奈歩委員】

それでは、共産党の試案について、説明させていただく。

共産党としては、多くの県民の切実な声を反映できるように総定数は削減することなく、現在の総定数102人を維持することを基本とすべきであると考えており、試案でも総定数は102人としている。

次に、増減についてであるが、増員区として、岡崎市及び額田郡を1増、豊田市とみよし市を合区したうえで1増、減員区として、津島市と愛西市、弥富市を合区したうえで1減、豊川市を1減とすることで、2増2減としている。

次に、選挙区数についてであるが、合区を行うことで、現行の55から40にすることとしている。

次に、最大較差についてであるが、共産党として較差は可能な限り最小限にすべきであると考えており、1.63としている。

次に、現行の選挙区設定を変更する選挙区についてであるが、共産党として1人区を少しでも減らし、多くの県民の声が反映される選挙区にすべきとの考えから合区案を出している。具体的には、千種区及び東区、中区及び昭和区、瑞穂区及び天白区、熱田区及び中川区、豊橋市及び田原市、津島市、愛西市及び弥富市、碧南市及び高浜市、豊田市及びみよし市、安城市及び知立市、犬山市及び丹羽郡、常滑市及び知多郡第二、江南市及び岩倉市、尾張旭市及び長久手市、豊明市、日進市及び愛知郡と合区を行うことで、多くの県民の声が反映される案としている。